

(前略) 尙又御出荷被下候現品ノ内十九號廿號貳口ニ限り少々若口ノミナラズ現品產地違ノ様ニ思ハレ候右ハ前便ニテハ製造家ノ氣持チヲ惡クスルモヨロシカラズトテ差控ヒ候

二、鮮魚冷蔵輸送試驗

(一) 鮪冷蔵輸送

一、趣旨

前年度ニ繼續シ目鉢及黄肌鮪ノ中央市場ニ於ケル市況並ニ需要關係ヲ知ランガ爲本試驗ヲ開始セシ
ノニシテ鮪漁業ノ振興ニ伴ヒ將來必然的ニ起ラントスル見込アルニヨリ特ニ本試驗ヲ開始セリ

二、供試原料

原料ハ本縣沖合ニ於テ鮪延繩ニテ漁獲セシモノニシテ漁獲後直チニ本場冷蔵庫ニ於テ碎氷ヲ加ヘ十
豫備冷却ノ上荷造リセリ

三、種類並ニ重量

1、目鉢鮪	一尾	一一五斤	東京
2、全	全	一〇八斤	大阪
3、全	全	六六斤	東京
黄肌鮪	全	五十一斤	全

冷蔵中ノ溫度次ノ如シ但シ夜間ハ運轉中止セリ

月 日	前九時	十一時	后一時	后三時	后五時	運轉中止時間
一月九日	三度	三	二	二	二五	午後五時半
十日	元	二七	二	二	二	全
十一日	元	二	二	二七	二	全 六時二十分
十二日	元	二七	二	二	一	全 四時

四、荷造及容器等

魚種	重量	容器		添加碎氷
		高さ	巾	
東京送り目鉢	一五斤	一、八	一、五	碎氷二ヶ分
全肌鉢	五	一、五	一、五	全
大阪目鉢	一〇斤	一、八	一、五	全

右ハ十二月十二日荷造リヲ行ヒ午後四時ヨリ冷蔵庫三號室ニ入レ十四日午後二時汽船出帆迄冷蔵庫ニ入ル
五、試賣ノ結果

冷蔵輸送鮮魚ハ大阪商船會社台南丸積ミトシ十二月十四日午後二時那覇港出帆全月十七日神戸港着、冷却用
氷ノ切レタルモノハ更ニ神戸丸神組ニ増氷ヲ依頼シ夫々目的地ヘ向ケ輸送セリ、

汽船中ニ於ケル狀況ニ付テハ特ニ商船會社那覇支店ニ依頼シ注意ヲ乞ヒタリ全支店ヨリ報告ヲ參考ノタメセバ次ノ如シ

汽船臺中丸氷詰鮮魚積入狀況

積入地及月日。那覇、昭和六年十二月十四日 陸揚地及月日 神戸市港同年十二月十七日

積入當時天候 曇天 陸揚當時ノ天候 曇天北西ノ軟風

氣 溫 華氏 五六度 氣 溫 卅六度

積付場所 船尾上甲板

積付方法 高サ五寸位ノ荷覆板ヲ一面ニ用ヒ並列ス

積入後ノ處置 ターボリンヲ二重ニ掛ケ其ノ上ニ牛飼ノ草ヲ積ミ重ネ可及的海水出及日射ヲ防グ

摘要 入港ト同時船客ニ先立チ陸揚ヲナス
賣渡者 右擔當者

航海中ノ天候 曇天並東ノ和風 海上和浪

氣 溫 高 五六度 低 三六度

次ニ之レガ試賣ノ結果ニ付テハ甚ダ不結果ニ終リシモ今後ノ計劃等ニ對シテハ得ル處アリタリ左ニ詳記ス

支 出

(一) 東京試賣ノ分ニ付テハ

一金四拾九圓四錢

總支出高

内 譯

品 目	數 量	單 價	金 額	備 考
原 料				
目 鉢	一	、二七	一、九、五 ^円	一尾
目 鉢	一	、二七	二、三	全 三斤
黃 肌	一	、二七	八、六七	全 五斤
荷 造 容 器	二	、〇〇	四、〇〇	
用 水	四 個	、九〇	三、六〇	
繩 其 他			一、四〇	
持 出 シ 賃			四九、〇四	
計				

(4) 仕 切 寫 シ

收 入

共 同 水 産 會 社

品 目	個 數	數 量	單 價	金 額	備 考
メ ン ー	一	一八、四〇〇 ^円	一〇、〇〇	一八、四〇〇 ^円	
キ 全	一	一〇、五〇〇	一四、〇〇	一四、七〇	
ハ ー	一	八、五〇〇	一四、〇〇	一、九〇	
ダ ー	一				

小計	販賣手数料	運賃立替	配達賃	通信費	水揚賃	小計
	三、一五〇	一六、一〇	二、〇〇	一、二〇	五〇	
諸						三、〇九
掛						三、〇九
諸						四、〇〇
掛						三、〇九
差引手取						三、〇九
備考	那覇、神戸四、三、神戸、東京七、三、水切發送費一、六増水代二、七					

諸	掛	收	入	差引收支	備	考
	三、〇九		四、〇〇	三、九	手	取
					金	

收支計算

支	出	收	入	差引損失
	四、〇四		三、九	二六、一三

差引貳拾六圓拾參錢ノ損失ヲ見タルナリ

(二) 大阪試賣ノ分ニ對シテハ

支 出

一金貳拾參圓拾六錢

總支出高

内 譯

品 目	數 量	單 價	金 額	備 考
目 鉢	一	一、七〇	一八、三〇	
荷 造 容 器	一	二、〇〇	二〇、〇〇	
用 水 費	一	九〇	一、八〇	
荷 出 賃			三、一六	
持 計			三、一六	

收 入

(イ) 仕 切 寫 シ

大 阪 魚 會 社

金參拾貳圓四拾錢也

賣 上 金 高

内 諸 掛 リ

一金參圓貳拾四錢

卸 賣 手 數 料

一金參圓五錢

那覇大阪運賃

一金貳圓

市場迄運賃

一金拾四錢

荷物配達料

一金參拾錢

通信料

小計八圓七拾參錢

依テ差引

手取金

金貳拾參圓參拾壹錢

收支計算

收	入	支	出	差	引	利	益
	三、三三		三、一六				一、一四

即チ本試験ニ依レル利益ハ僅カニ拾四錢トナル

試賣品ニ對スル品評

次ニ東京及大阪兩市場ノ品評ヲ記スニ次ノ如シ

一、東京共同水産株式会社

拜啓

益々御隆昌奉賀候陳者今回は鮪御試送被下難有御禮申上候、本朝着販賣致し候結果概略左記御報申上候
 一、荷造は至極完全にて申分無之候

一、碎氷は非常に多量に候此分にては此箱に今一尾宛鮪を多く入れて丁度宜敷候即ち大函一尾入に對し尙五六十斤の物を一尾増し二尾入とし他の箱二尾入の方も五六十斤の物を一尾増し三尾入れが適當に候
 運賃其他經濟上御得策に候

一、品質は大目鉢、一尾非常に悪しく余程日數經過致せし物か或は漁獲後取扱悪しきか何れかと考へ候
 魚体は大形程高價にて十貫匁以上と以下とは相當の高下有之候も次品の爲安價に候

小目鉢と黄肌は大目鉢に比し品質宜敷候

黄肌は目鉢よりも高價に候得共今回は黄肌小形の爲に小目鉢と同値に賣れ申候

一、價格	品名	重量	單價	金額
	黄肌	八、五〇貫	一、四	一一、九〇
	小目鉢	一〇、五〇〇	一、四	一四、七〇
	大目鉢	一八、四〇〇	一、〇	一八、四〇〇
	計			四五、〇〇

一、本日の人気は鮪の入荷が割合に少く刺身物は一般に人氣良き方に御座候若し此の大目鉢が極新鮮物と假定致せば十貫匁に付金拾七八圓見當に御座候

一、台灣物との比較は別に大差無之候

右の次第に候間今一回新物を御試送被下度御願申上候當地は此の年末より二月迄は鮪入荷薄の爲刺物は高價に候

尙貴地生飛魚が當地にて相當高價に賣買出来る見込みに候間次回には十尾か二十尾にても宜敷是非の箱の角に詰み込まれ度御願申上候、一尾貳拾錢以上の見込みに候
右不取敢御報告申上候 敬具

二、大阪魚株式會社

拜啓 貴所益々御多祥之段奉賀候

陳者昨拾八日賣目鉢鮪壹本御送附に預り御參考迄に左記御報告申上候

記

一、容器は大き過ぎたる事

容器は魚の頭部の端を切りてキツチリ這入る位亦深さも氷の適度に入れ得る位にて宜敷候此の度の分大過ぎる様に箱の中にて魚が動揺し特に中身大痛みです。

一、鰓は成るべく除去されば魚の保ちの点亦値段の上にも有利です

一、成る丈け大形のものを選択の事。

何分遠路の事なれば拾四五貫以上のものなれば魚の保ちも良好に然も小形のもの痛み早く當地賣は不向です

一、貴地産の目録と同じ大きさにて紀伊、土佐ものは貳拾五六圓の賣値です。近海に比し貳割乃至四

は安價です

以上

從前よりも貴地商人中より市場へ時々御送附に預り申居も小形の様に成績揚りません大形を御勧誘不明

(三)

本月十二日付之水試第二四六ヲ以テ御願依頼ノ標札ノ件左記ノ通り候條御承知相成度候也

沖繩縣 物産販賣 大阪幹旋所

記

- 一、容器大ニ失セル爲輸送中動搖シ相當ノ荷傷リヲ認ム、爾今出荷サル、時エラヲ除去スルト共ニ頭部目ノ先ト尾先キヲ切斷シ適當ノ容器ヲ用ヒラレタシ
- 二、市場ノ嗜好トシテハ小形物ヨリ大形物ヲ歡迎ス
- 三、現品ハ十ペル十八圓外替ナルモ其際氣配ハ十五圓位ナリシヲ以テ見レバ本取引ハ良好ノ成績ト認ム
- 四、爾今出荷ノ際ヨリハ中央市場魚會社第十八號ヲ指定サレタシ
- 五、出荷ノ際ハ必ず本所へ電通セラレタシ

(二) 飛魚冷蔵輸送

一、趣旨

生飛魚ノ市況及需給關係ヲ知ランガタメ鹽藏飛魚試賣試驗ノ傍本試驗ヲ施行セリ。

二、時期 七年一月十八日發送

三、原料 糸満近海ニテ水揚セラレシモノ尾數二百十二尾

四、原料ノ處理法

鮮魚ハ容器ニ入レ氷ニテ掩ヒ便船ニテ冷藏度シテ貯藏ス

五、左記容器ニ入レ氷詰トシテ輸送ス

容器寸法 高サ六寸・長サ二尺二寸・巾一尺六寸

一、函内ノ尾數ハ

七〇入 一函 大阪

七〇入 一函 東京

七〇入 一函 神戸

六、試賣ノ經過

1、東京共同水産株式會社

(一) 入荷月日 一月二十五日朝

(二) 荷造法 完全ナリ

(三) 殘氷量 全然殘氷ナシ

(四) 品質

氷ガ切レタルコト及箱ノ中ニ空所ガ出來テ飛魚ガ積卸シノ都度壓セラレタル事等ノ爲カ魚

軟カニシテ肉質稍赤味ヲ帶ベリ。

(五) 賣 價 一尾十三錢ナルモ氷ガ切レズ完全ニ入荷セバ一尾二十錢位ノ見込

(六) 見 込 將來冷蔵船ニテ直航致ス場合飛魚ハ確カニ有望ニ候

仕 切 書

飛 魚 七〇尾入 一個

單 價 十三錢

金 額 九圓十錢

内 諸 掛 ヲ

販賣手數料 六十四錢

運賃立替 二圓六十錢

配達賃立替 三十錢

通信費 三十錢

水揚賃 九 錢

小 計 三圓九十四錢

差引手取 五圓拾六錢

拜啓 陳者七水試第十六號明書正ニ落手致シ候發送ノ飛魚六八(御案内ニハ七〇)トアリ壹個ハ昨廿一日當市場海產物株式會社ヨリ回付今日當會社第三號賣場ニテ金三圓八十錢ニテ販賣致シ仕切金ハ全賣場ヨリ直接御送付申上候

水ヲ用ヒザル爲メ軟カイナリ且荷送掛ニテ箱内ニテ相磨擦シテ損傷致シ居ル爲前記ノ遙一尾五錢六厘ニ候へ共水ヲ用ヒ損傷ナク御送荷相成候へバ一尾七錢位ニテ賣行クカト存ジ一般商勢力近時サバ鱒等ハ物潤澤ニテ見込薄ニ御座候 (下畧)

3、神戸市場

(報告ナシ)

收支計算

支出ノ部

一金四圓八錢

總支出

内譯

品目	數量	單價	金額	備考
飛魚	二二	一〇五	二二二	
荷造費	三	六〇	一八〇	
雜費			三〇	截割、持出シ賃等

容 器 代 計	三	三〇〇	九〇 二七〇 六、三六
------------------	---	-----	-------------------

收入ノ部

一金拾圓四拾錢也

内譯

總賣上高

一金五圓拾六錢

共同水産手取

一金參圓貳拾四錢

大阪魚會社手取

一金貳圓也

日本水産神戸販賣所手取

差引收支計算

收 入 ノ 部	支 出 ノ 部	差 引 利 益
一〇、四〇	六、三六	四、〇四

以上ノ結果ニ依レバ東京市ハヨリ廉價ナル原料ヲ用フルニ於テハ將來見込ミアルヲ知ルベシ